

各部配筋 参考図

木造建築工事標準仕様書3章において特記することとしている各部配筋については、構造計算等に基づき適切に特記する必要がある。

このため、設計の質の確保、能率の向上及び寸法の統一を図り、あわせて積算、施工における業務の簡素化を図ることから、各部配筋を図面特記する際に必要な事項を参考図として示すものである。

- ※1 参考図を適用する際には、参考図中の【 】の通り、設計者の判断によりその項を適用するか否かを特記仕様書等に記載する必要がある。(記載例参照)
- ※2 参考図内に記載されている【その他記載すべき事項】は、特記仕様書又は図面に記載すべきものを示す。
- ※3 参考図内に記載の「標仕(. . .)」は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)の当該項目、当該図又は当該表を示す。また、参考図中の定着長さの記号(L2等)については、公共建築構造標準仕様書(建築工事編)第5章第3節による。
なお、図中の寸法の単位はmmとし、単位記号は省略する。

1節 基礎及び基礎梁の配筋

1.1 直接基礎の配筋

【 直接基礎の配筋

・各部配筋参考図 1.1による

・ 図示 】

(a) 独立基礎

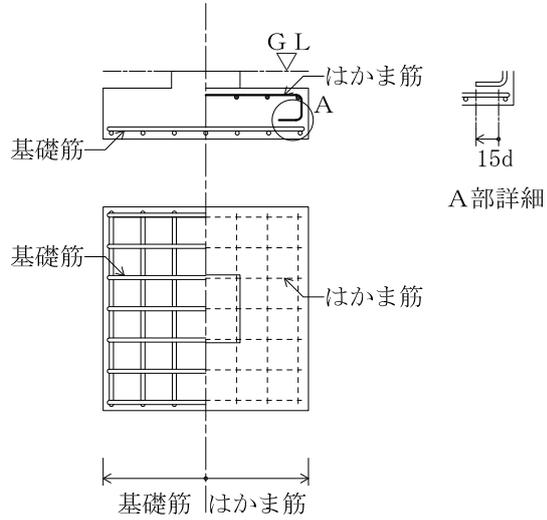


図1.1 独立基礎の配筋

(b) 連続基礎

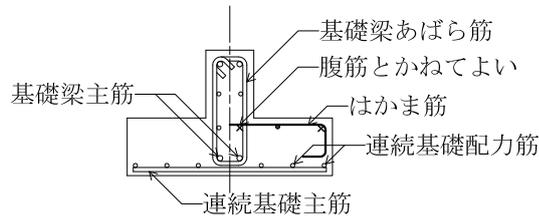


図1.2 連続基礎の配筋

【その他記載すべき事項】

- (1) 鉄筋の種類及び呼び径 (mm)
- (2) 鉄筋の間隔 (mm) 又は本数
- (3) 基礎の形状
- (4) 基礎の底面のG L面からの深さ及び基礎スラブの厚さ (mm)
- (5) はかま筋の有無

1.2 基礎梁主筋の継手，定着及び余長

【 基礎梁主筋の継手，定着及び余長 ・ 各部配筋参考図1.2による ・ 図示 】

(a) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手，定着及び余長

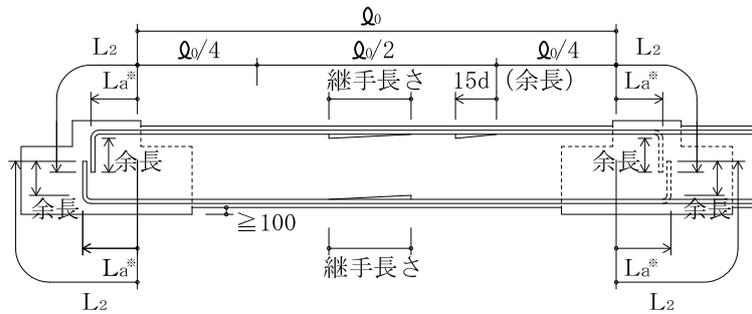


図1.3 主筋の継手，定着及び余長（その1）

(b) 連続基礎の場合の主筋の継手，定着及び余長

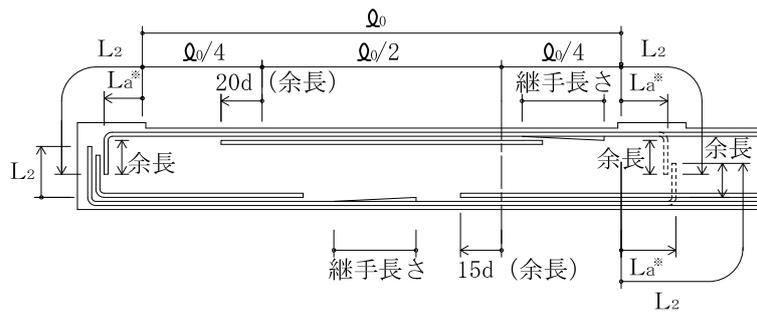


図1.4 主筋の継手，定着及び余長（その3）

1.  印は，継手及び余長位置を示す。
 2. 破線は，柱内定着の場合を示す。
- ※ L_a の数値は原則として柱せいの3/4倍以上とする。

【その他記載すべき事項】

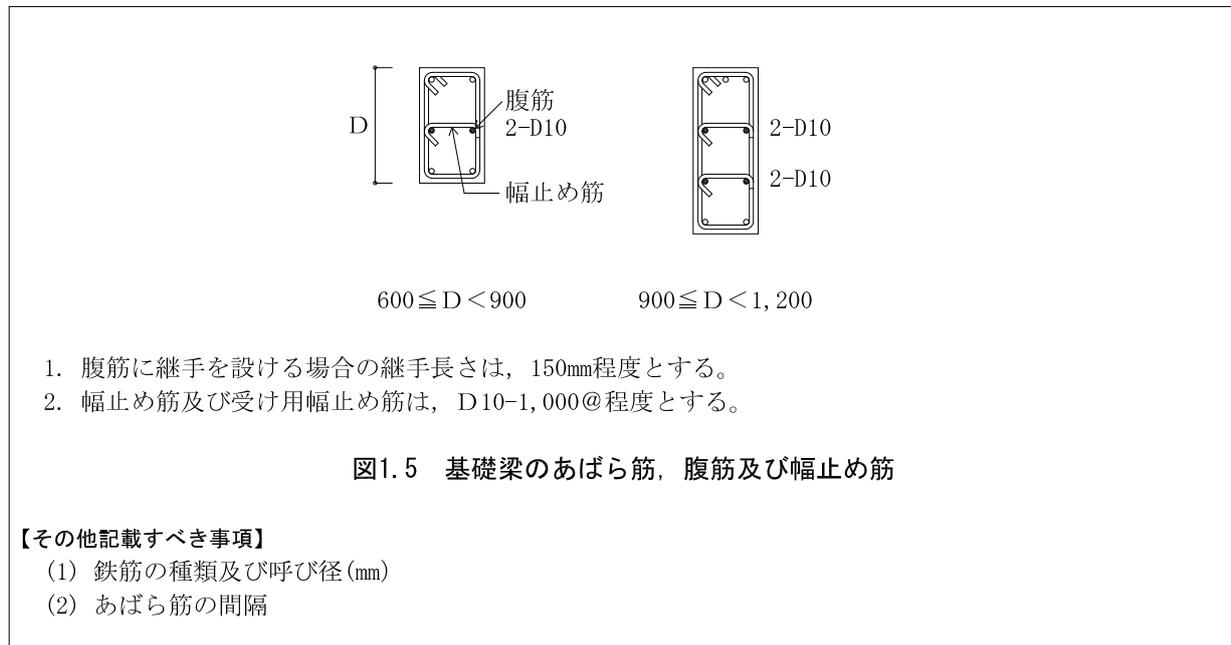
鉄筋の種類及び呼び径(mm)

設計注意事項

柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さは，建築基準法施行令第36条及び第73条の規定に注意が必要である。

1.3 基礎梁のあばら筋等

【 基礎梁のあばら筋，腹筋及び幅止め筋 ・ 各部配筋参考図1.3による ・ 図示 】

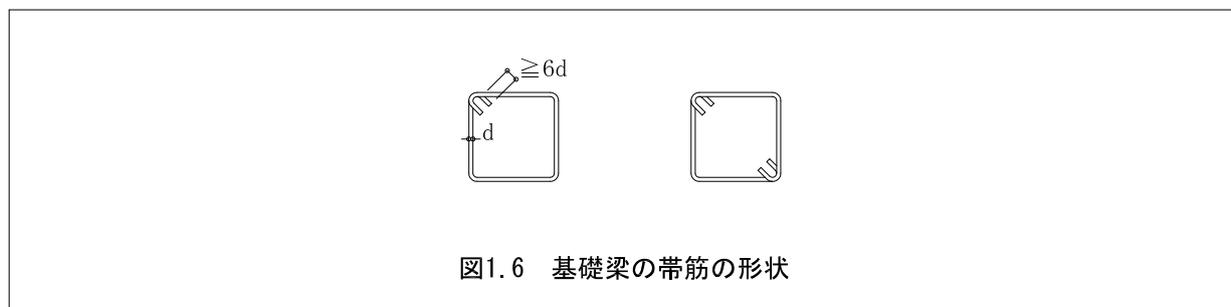


設計注意事項

腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ及び定着長さは，別途定めること。

1.4 基礎柱の帯筋組立の形

【 基礎柱の帯筋組立の形 ・ 各部配筋参考図1.4による ・ 図示 】

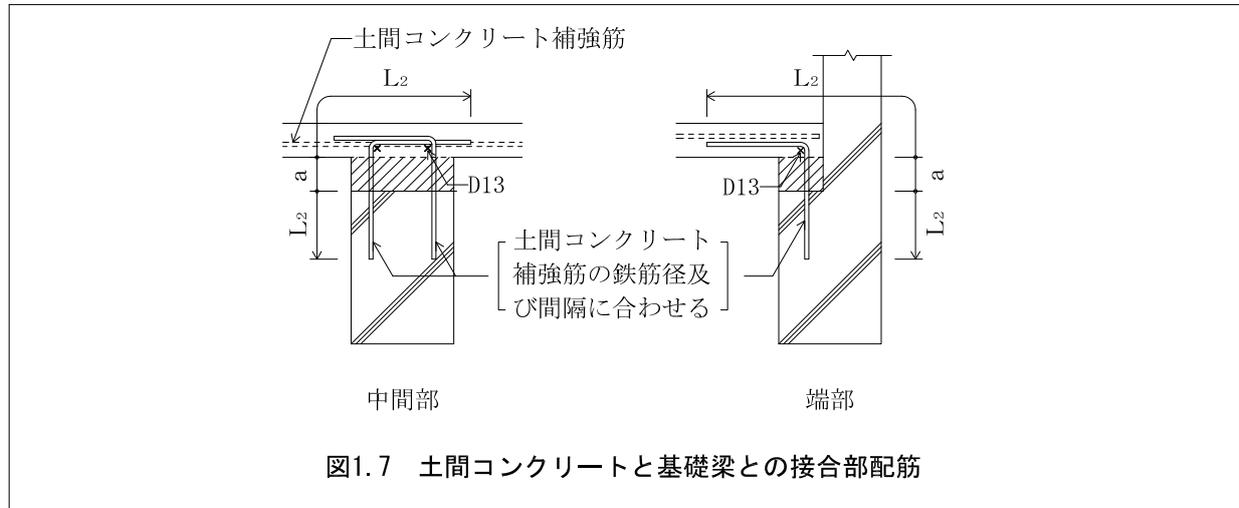


1.5 土間コンクリートの補強

【 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

・ 各部配筋参考図1.5による

・ 図示 】



設計注意事項

a が300mm以下の場合に限る。

参考図を用いる場合の記載例（1.2 基礎梁の主筋の継手，定着及び余長）

〈特記仕様書〉

	項 目	特 記 事 項													
鉄筋工事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継手, 定着, 余長 	基礎梁の継手, 定着及び余長 <ul style="list-style-type: none"> ○ 各部配筋参考図1.2による <ul style="list-style-type: none"> ▪ 図示 													
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄筋 	鉄筋の種類 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">種類の記号</th> <th style="width: 33%;">呼 び 径 (mm)</th> <th style="width: 34%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▪ SD295A</td> <td>▪ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ SD345</td> <td>○ D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			種類の記号	呼 び 径 (mm)	備 考	▪ SD295A	▪ D16以下		○ SD345	○ D19以上			
種類の記号	呼 び 径 (mm)	備 考													
▪ SD295A	▪ D16以下														
○ SD345	○ D19以上														

(注)1. 図示とは別途図面特記することを示す。

2. 参考図1.2のその他記載すべき事項にある鉄筋の呼び径は，図面特記すること。